



## 一町がめざすスマホ役所



庄内町長 富樫 透

新型コロナウイルスワクチン接種の予約にLINEを用いたことで、町の公式LINEの普及率が上がりました。LINEからの申し込みは、7割を超え、登録者数も1万人を超えて、実に全人口の半分以上になっています。

また、各まちづくりセンターを中心に開催されたスマホ教室も、当初予定の12回では足りず、20回を超える開催を計画するほどの人気ぶりです。

先に行われた防災訓練では、初めてスマホを使ったデジタル防災訓練も行われ、「安全行動」、「避難場所の確認」など実際の避難行動時の留意点や避難の順序が確認できました。また、庁舎を中心に行った避難訓練では、職員間の情報伝達アプリ「LINEWORKS」の活用により避難所開設の指示や設営進捗の確認、トラブル解決の対応などとアプリの有効性を実感しました。

現在、LINEでできる申請・予約は、住民票、印鑑登録などの各種証明書、水道・ガスの開閉栓の手続き、母子手帳の交付予約、各種相談予約、飼い犬の各種申請など約40種類の利用が可能となっています。

来年からは、LINEから給付金等の申請を行い、口座登録を行うことなくセブン銀行ATMで受け取れるサービスも開始する予定です。また来庁者には、窓口支援システムを利用した、ワンストップサービスもはじまっています。より利便性や汎用性が拡大するように進めていきます。

かくいう私自身も、PayPayのコンビニチャージにようやく慣れてきたところです。スマホ活用はまだですが、「習うより慣れよ」の精神で利便性を享受していきたいと思えます。ぜひみなさんも活用ください！